

【別紙】 令和6年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立芝西中学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	豊かな心を持ち たくましく生きる生徒
目指す学校像	すべては生徒の夢実現のために～生徒が夢中になって活動する学校～

A	ほぼ達成 (8割以上)
B	概ね達成 (6割以上)
C	変化の兆し (4割以上)
D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	9名
事務局 (教職員)	4名

領域	学校自己評価			年度評価 (令和7年2月14日 現在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	次年度への課題と改善策	
組織運営	<p>【現状】 ○目指す学校像を浸透させ、一人一人の教職員の役割を明確にした。そのため、全教職員に学校運営参画意識を高めることができた。</p> <p>【課題】 ○生徒がさらに夢中になって活動するよう、教職員が授業改善や学校行事等の指導改善に取り組み、教職員が夢中になって指導する組織運営を行う。</p>	<p>○目指す学校像達成のために、学校力の向上を高揚させ、全教職員が夢中になって働ける経営を行う。(目指す学校像の達成に取り組めたが100%)</p> <p>□一人一人のキャリアや得意分野、興味関心を生かし、役割を明確にし、学校運営参画意識を高揚させる。(学校運営に積極的に参画できたが100%)</p> <p>◇</p>	<p>○年度当初に学校経営方針の中で、キーワードとして『夢実現』を掲げ、授業スタイルとあいさつを徹底する。(通年)</p> <p>□一人一人の役割を明確にし、学校運営参画意識を高揚させる。(通年)</p> <p>◇生徒の描く夢や目標に沿った進路選択の実現を支援する。(通年)</p>	<p>○学校評価で目指す学校像を意識し、職務を務められた職員は94%だった。生徒の「夢実現」の達成に向け、夢中になって働けた職員は100%だった。</p> <p>□学校評価で、一人一人の役割が明確であり、学校運営に参画する意識が高まっている職員は97%だった。</p> <p>◇生徒の夢実現に向けて、3年間を見通した進路指導が行えた職員は、学校評価では97%だった。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>○「生徒が自ら進んで挨拶している」は職員が53%、生徒は83%だった。生徒の意識を醸成し、しっかり挨拶させる。</p> <p>□100%になるように、校務分掌等を割り当てる。</p> <p>◇陽春分校の職員の学校評価では「行えた」が66%だった。1年間で卒業や進路変更をする生徒への指導も考え、進路・キャリア教育指導計画を再検討する。</p>
教育課程	<p>【現状】 ○芝西では、各学期に授業訪問を計画的に行い、授業改善に向けたフィードバックを行った。また、陽春では、週2回授業訪問を行い、工夫した授業が行えているか確認した。</p> <p>【課題】 ○「芝西中授業スタイル」、「陽春授業スタイル」の徹底に課題が残った。</p>	<p>○【芝西】「生徒が夢中になって活動する」授業の実現。(授業に夢中に取り組めたが80%)</p> <p>□【陽春】様々なニーズを考慮した特別な教育課程に基づいた教育活動の実施。</p> <p>◇</p>	<p>○【芝西】芝西中授業スタイルを徹底させるよう短時間でも毎日授業訪問を行い、適宜指導する。</p> <p>□【芝西】学期に一回以上全教員の授業を計画的に参観し、指導する。(通年)</p> <p>◇【陽春】特別な教育課程、授業形態、少人数指導等について共通理解を図り、陽春授業スタイルを確立する。(通年)</p>	<p>○小学校の校長先生を見習い、出張以外のときは、必ず全授業を訪問し、授業スタイルを意識した授業の実施は97%だった。</p> <p>□毎学期に一回、全教員の授業を計画的に参観し、指導した結果、学校評価で、「生徒が夢中になって活動する」授業の実現に向け、授業改善を進めた職員が100%だった。</p> <p>◇陽春分校の学校評価で、学びのスタイルを意識した授業の実施は100%だった。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>○□「学びに向かう力」への職員の意識改革と生徒の向上に取り組む。</p> <p>◇生徒が大幅に増えるため、特別な教育課程、授業形態、少人数指導等についてさらに進化させる。</p>
開かれた学校づくり	<p>【現状】 ○学校行事、HP、緊急メール、学校だより、学年だより、学級通信等を通して、学校の様子は十分に情報提供できた。</p> <p>【課題】 ○地域の防災訓練の参加者が少なかったり、学区の小中学校との連携を深められなかった。</p>	<p>○保護者・地域との活動や陽春分校との交流を通して、保護者・地域から信頼され、誇りに思われる学校にする。(学校評価において、学校の様子がわかる80%以上)</p> <p>□</p> <p>◇</p>	<p>○HP、川口市保護者緊急情報メールやFormsを効果的に活用し、必要な情報を提供、収集する。(通年)</p> <p>□地域の防災訓練など地域行事を通して、保護者・地域との連携・絆を深める。(通年)</p> <p>◇本校と分校の交流を体育祭・合唱コンクールを中心に3回以上実施。(2、3学期)</p>	<p>○学校評価で、HP、川口市保護者緊急情報メールやFormsを効果的に活用し、必要な情報を提供、収集できた職員は100%だった。</p> <p>□学校評価で、「防災訓練など地域と連携し、地域に貢献する生徒を育成している」は職員100%、生徒86%、保護者61%だった。</p> <p>◇体育祭、合唱コンクール、卒業期の交流と3回実施できた。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>○保護者の学校評価で、出欠席やアンケートにおけるFormsの活用は適切だったが93%だったが、HPやメールの配信が適切にされているが76%、わからないが15%だったので、HPの取組を保護者に周知する。</p> <p>□学校評価で、分からないと答えた保護者が15%だった。取組を保護者に周知するとともに、参加生徒を増やす。</p> <p>◇今までの活動を各校で生かす。</p>
教職員の資質向上	<p>【現状】 ○教職員事故0を達成し、生徒、保護者、地域から信頼される教職員を育成できた。また、働き方改革の推進に取り組めた。</p> <p>【課題】 ○さらに、働き方改革の推進するため、教育課程を大幅にお変更する。それにより、教職員の資質を向上させる。</p>	<p>○生徒、保護者、地域から信頼される教職員を育成し、教職員事故0を達成する。</p> <p>□「働き方改革」の推進・徹底(負担感が軽減した職員が80%以上)</p> <p>◇</p>	<p>○一人一人の教職員のライフステージ等に合わせ、短期的・中期的な育成計画を立て、それに沿って指導する。(通年)</p> <p>□教育課程を大幅に変更し、教職員の時間外在籍時間を20%削減する。(毎月)</p> <p>◇校務PCやGIGA端末をさらに有効活用し、職員の校務をより効率化する。(通年)</p>	<p>○計画表を作成し、それにそって指導した。</p> <p>□授業削減が7%に対して、時間外在籍時間は10%減にとどまった。</p> <p>◇学校評価で、校務PCやGIGA端末活用によって、校務が効率化された職員が88%だった。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>○一人一人の職員の課題を更新する。</p> <p>□目標設定を適切にし、月、年の目標数値を100%達成にする。</p> <p>◇さらに効率化し、100%にする。</p>
施設・設備等の管理	<p>【現状】 ○適切な予算執行と会計事故ゼロ及び安全・安心を最優先とした施設・設備事故ゼロが達成できた。また、学校の状況に合わせた予算執行もできた。加えて、タブレットPCを有効活用することやミライシード活用に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【課題】 ○さらに研修を積み、授業等でタブレットPCを有効活用する。</p>	<p>○ミライシード活用を中心に、タブレットPCを有効活用する。</p> <p>□適切な予算執行と会計事故ゼロ及び安全・安心を最優先とした施設・設備事故ゼロ。</p> <p>◇</p>	<p>○ミライシードの研修会を実施するとともに活用事例を発表させ、全教員が生徒に授業や家庭学習で活用できるようにする。(通年)</p> <p>□会計規定を徹底し、転出入者の会計事務を行わせ、事故防止を徹底する。(通年)</p> <p>◇安全担当を中心に、全教職員に責任と危機意識を醸成し、毎月の安全点検を行い、施設設備の修繕を確実に実施し、施設設備事故を未然に防ぐ。(通年)</p>	<p>○生成AIについても校内研修を行った。芝西中では、授業の振り返りや家庭学習にオンラインやTEAMSを活用して取り組ませていた。学校評価の結果「活用できた」職員が90%だった。</p> <p>□学校評価で、転出入者の事務処理を適切に行なった職員が97%だった。</p> <p>◇学校評価で、責任と危機意識をもって、学校内の安全点検を適切に行なった職員が100%だった。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>○有効活用している事例を校内研修で周知し、全職員で活用できるようにする。</p> <p>□事故防止を確実に実行するために転出入者の事務処理を徹底する。</p> <p>◇点検を生かし、修繕を迅速に行う。</p>

学校関係者評価	
※実施日	令和7年2月21日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・挨拶することで、生徒の体調や様子もわかると思うので、職員が80%と評価できるよう指導していきたい。 ・年度当初に学校経営方針でキーワード「夢実現」を掲げ授業スタイルやあいさつを徹底するなど具体策を決めたことにより、先生方の意識の向上に繋がりが高い達成率できたことはとても良いと事だと思えます。	
・夢わくに来た中1の生徒が「学校は楽しい」と即答していた。学校運営の充実が伺えた。 ・学校運営に一人丸となって取り組まれていることが分かります。	
・陽春分校は、外国籍の方が多く、生活習慣が違うので大変かと思えます。 ・充実した進路指導が伺えます。	
・余剰時数削減、日課表の見直しにより、授業の充実が図られている。 ・授業スタイルの確立と徹底が実現でき、素晴らしいと思えます。	
・概ね評価できる。 ・授業改善についても、教職員の意識の高さを感じます。	
・陽春分校も訪問してみたい。 ・個に応じた教育実践が積み重ねられていることが素晴らしい。	
・HPを拝見しました。大変見やすく、よいと思いました。 ・時間はかかると思いますが、必ず目標を達成することができると思えます。 ・異なる保護者への周知・啓発を、保護者の学校評価ではFormsの活用には評価が高いと出ていますが、HPやメールの配信評価が少し下がり、わからないなど回答があり工夫するべきと感じます。 ・保護者の方にHPをもっと見てもらえるといいですね。 ・防災訓練については子供たちが自治会に参加し防災訓練に参加することは、とても良いことだと思います。しかし学校で行っている防災訓練は小学校に比べ子供から親への話はなく、どんな防災訓練をしているかなどわか ・本校と分校の交流が素晴らしい。 ・芝地区の小中の地域学校保健委員会、教頭・教務主任会など、横の繋がりを大事にしていただいてよかったです。 ・小中連携を更に図っていきたい。	
・計画的な人材育成ができていていると思えます。	
・10%であっても、時間外在籍時間が減少したことは、働き方改革が推進されている証です。	
・効果的な取り組みだと思えます。続けることで、さらに大いなる成果となることを確信しております。	
・AIの利用で、本来の指導・教育に時間が割けるようになることを望みます。 ・タブレットの授業への活用が推進され、何よりと存じます。 ・デジタルと紙の教科書の比率を知りたい。 ・課題にあるようにタブレットを有効活用し普段から使用し、長期で休んだ場合でも使いやすい環境整備をお願いいたします。	
・転出入が多く、事務処理・会計処理が煩雑で大変だと思う。 ・転出入に関する事務処理・会計処理について周知・徹底が図られていると感じます。	
・安全点検では、定期的に担当場所を入れ替える効果的です。 ・基盤となる安全について、100%達成は素晴らしいと思えます。	